

## 島根県でのタカチホヘビ確認 2 例 (ナミヘビ科)

皆木 宏明\*

### Two records of *Achalinus spinalis* Peters from Shimane Prefecture (Colubridae)

Kohmei Minagi

島根県三瓶山地域でタカチホヘビ *Achalinus spinalis* Peters を確認したので報告する。

タカチホヘビは背中に黒い条線をもち、体表に真珠光沢を有するヘビである (写真 1)。全長は30~60cm ほどの小型の種類で湿った森林を好み、乾燥や高温には弱いとされ、もっぱら地中で生活し主にミミズを食べて生活するとされている。分布は日本では本州・四国・九州と国外では中国の中・東部にも分布することが知られているが、その生態から人目には非常につきにくく、全国的に分布するにも関わらず確認例は少ない (千石ら編, 1996)。

島根県中央部に位置する三瓶山とその周辺で、2005年と2007年に各1個体ずつ本種を確認した。それぞれの確認例は以下のとおり。



写真 1 タカチホヘビ (大田市山口町で確認した個体)

2005年9月21日 島根県大田市山口町で採集

体長28cm 1個体

学校行事で男三瓶山登山をしていた中学生が登山道 (名号コース) で地表を這う本種を採集 (標高約750m)、翌22日に三瓶自然館に持ち込まれた個体。ミズナラの林内で確認され、発見日は雨上がりだった。

2007年6月27日 島根県雲南市掛合町波多で採集

体長36cm 1個体

ふれあいの里奥出雲公園敷地内 (標高約430m) での竹林整備作業中、朽ちた倒木の下で確認された個体。確認地は竹林内であるが、周囲はスギの植林地やコナラ林が広がっている。

国内では39都府県で県のレッドデータに記載され、タカチホヘビの分布しない北海道と沖縄を除けば、ほとんどの県で絶滅危惧種とされている。

島根県レッドデータでも本種は準絶滅危惧種に指定されている (島根県, 2004)。しかし、千石ら (1996) は本州・四国・九州の中で、千葉県・鳥取県・島根県・佐賀県の4県でのみ記録がないと指摘している。筆者の調べた範囲では県内での過去の確実な生息記録は確認できなかった。なお、記録がないとされた4県のうち、鳥取県では1998年と2001年に本種の生息が確認されている (鳥取県, 2002)。

県内でのタカチホヘビの分布については、少なくとも近年の確認例がないため、今回島根県での記録として報告する。

タカチホヘビの分布に関する資料について、宍道湖自然館の寺岡誠二氏にご教授いただいた。この場を借りて深謝する。

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda-shi, Shimane Prefecture

## 引用文献

- 鳥取県 (2002) レッドデータブックとっとりー鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物ー〈動物編〉214pp.
- 千石正一・疋田 努・松井正文・仲谷一宏 (1996) 日本動物大百科第5巻. 両生類・爬虫類・軟骨魚類. 平凡社. 189pp.
- 島根県 (2004) 改訂版しまねレッドデータブック. 415pp.